



小学っ子議会( H16 .8 .3 開催 )で質問をした21人の議員

第335回  
9月定例会

補正予算・工事請負契約など10議案を可決する  
決算特別委員会を設置, 4議案を付託

主な内容

- ・一般質問..... 2 ~ 6 ページ  
河島喜代美・松本英昭・松井精史・山中修己・  
藤本修造・横山四郎・鈴垣 元・竹内 修 の  
8 議員が 26 項目を質問
- ・議案質疑..... 6 ~ 7 ページ  
春名良兼・吉田成宏・川名善三議員が質疑
- ・議員研修会..... 8 ページ
- ・主な可決議案..... 8 ページ

第335回9月市議会定例会は、1日から29日  
日まで、29日間にわたり開催しました。

提出議案は、一般会計補正予算、(仮称)う  
るおい交流館建設(電気)工事請負契約の変更  
など6議案を原案どおり可決・意見書案3件は、  
採決の結果いずれも全会一致で可決しました。

## 九月定例会の一般質問発言者の項目

(発言した議員が作成した原稿に基づき編集されました。)

### 河島喜代美 議員

- ・町ぐるみ総合健康診査について
- ・生活習慣病について
- ・すこやか親子おの21計画について
- ・子育てしながら働ける社会について

### 松本英昭 議員

- ・市内を流れる東条川について
- ・通学路の新設について
- ・小野市立図書館の図書紛失について
- ・救急救命士について

### 松井精史 議員

- ・危機管理について
- ・うるおい交流館の運営について

### 山中修己 議員

- ・旧クリーンセンターの解体について
- ・通勤車両等の任意保険加入について
- ・国民健康保険税について

### 藤本修造 議員

- ・平成十六年度市長方針3Cの更なる展開について
- ・夢と希望の教育について
- ・白雲谷温泉ゆびかについて

### 横山四郎 議員

- ・JR加古川線粟生駅舎の改築計画について
- ・全国高等学校球算競技大会地元開催の総括について
- ・桜つつみ回廊事業の進捗について

### 鈴垣 元 議員

- ・道路舗装について
- ・教育現場の現状について
- ・国民健康保険一部負担金の減免について
- ・憲法・教育基本法改正をめぐる動きについて

### 竹内 修 議員

- ・市民病院における救急処置室の現状について
- ・通学路の安全対策について
- ・産業人材育成事業の推進について

## 小野市がよく分かる 議会の傍聴をしませんか

議会では、市民に開かれた議会をめざしており、議場で本会議を傍聴することができます。是非一度、お越しになり、臨場感を味わってください。

日時 本会議開催日 午前十時～  
場所 市庁舎五階 傍聴席  
定員 三十六名

主な内容 議案の説明・質疑・答弁  
一般質問に対する答弁

傍聴手続 先着順に傍聴券を交付します

主な内容 gikikai@city.y.  
onohyogo.jp

## 新生クラブ

河島喜代美 議員

### 生活習慣病の支援策は

**問** 健康づくり支援のため、個人を社会全体で支援していく環境づくりが重要となります。

行政、企業、各種団体など連携を図り、個人の健康づくりにどのような支援策をお考えですか。

**答** 十七の団体から参画いただき、「ワーキング委員会」を設置し、健康問題の共通理解を図り、重点項目の推進に対して、現在の取り組み状況や今後の実践活動に向けて意見交換を行ってまいります。

また、生活習慣病予防のための食生活改善グループ「いずみ会」では、市民向けに、食生活改善への知識の普及や調理実習の取り組みや自己の健康づくりと市民の健康増進を高めることを目的にした「健康長寿をめざす会」での、健康講話や健康フェアでの料理の試食などが実践され活動の輪が広がっています。

これらの活動に対し合同事業なども視野に入れ、支援していく考えです。

## 子育てしながら働ける 社会について

**問** 仕事と家庭の両立が必要であり、短時間正職員制度やワークシェアリングなど、女性が出産後も働きやすい制度を導入するとともに、職場に産休や育休が取りやすい風土をつくるのが求められています。平成十七年度から十年間、小野市の行動計画には、どのような新しい支援システムをお考えですか。

**答** 本年度中に「行動計画策定委員会」での意見、提案などの審議を経て定めめます。

仕事と家庭の両立については、子育てに関わる不安感や負担感を和らげ、子育てに「やりがい」、「喜び」が実感できるような社会環境を整える必要があります。

そのために、子どもの育ちを支え、親の子育てを支援するにあたっては、行政だけではなく、市民の自発的な力を引き出し、これを支えていくことが重要との認識から、子育て家庭に愛情豊かな子育てオリエンテーションが提供できる場を、市民との協働により創り出すなど、今後支援システムを検討いたします。



### 新生クラブ

松本英昭議員

## 東条川河川改修について

**問** 本年度の計画は。

**答** 県に確認したところ、菅田町内の築堤延長百二十メートル及び池田町地内の護岸工事延長二百三十メートルの工事を実施するとともに調査設計業務として住吉町内の六ヶ井堰及び菅田橋の概略設計を行い、事業の進捗を図っていく予定であると聞いています。

**問** 地元の要望も反映できるか。

**答** 改修工事につきましては、下流側から整備を行っていくのが原則ですが、緊急性等も考慮しながら地元協力が得られ用地取

得が完了した箇所、また河川の狭小部等について、地元の要望もできるだけ反映して頂けるよう県に要望してまいります。

## 通学路の新設について

**問** 菅田橋北詰東条川堤防を整備して通学路として利用する考えを伺います。

**答** 子供達の通学に安全で安心な通路を確保するためであれば、一般の通行を規制することを条件に舗装工事等の河川占用を許可するとの回答も得ており、教育委員会とも協議しながら、早期に整備に取り組んでまいります。

**問** トクセン工業から住吉南の信号まで約二百メートルの区間歩道設置ができないか、お尋ねします。

**答** 当路線に近接する地権者の方々のご協力が必要不可欠であり、今の段階では、土地所有者の相続関係人の把握が得られていないのが現状であり、歩道を含む県道整備事業は、必要であると考えていますので、北播磨県民局・社土木事務所へ整備のお願いをしてまいります。



### 新生クラブ

松井精史議員

## 危機管理について

**問** 火災・風水害の際、緊急避難時の災害弱者の対応についてシミュレーションされましたか。

**答** 日頃より民生児童委員やボランティア等と連携をし、災害時に地域の方々とともに、避難誘導や安否確認、避難所開設・運営を行い、生命の安全と生活基盤の建て直しを支援し、避難所では医療関係者の巡回等を行い、状況により病院や福祉施設への一時入所等災害弱者の支援に努めていくこととしています。

**問** 市内三百九十箇所余りの、ため池改修計画について伺います。

**答** 現在までに、百九箇所のため池改修を行っている。今後も警戒ため池を地元管理者に理解と協力を得ながら計画的に改修を進め、災害の防止と農業の振興に努めます。

**問** 新聞で着服・裏金の捻出など公金の不祥事が報道されていますが、小野市の未然防止対策について伺います。

**答** 公金の取扱いの指導等周知徹底している。綱紀肅正通知の中で、公務員としての信用保持の義務と自覚を促している。

## うるおい交流館の運営は

**問** 市民活動支援センターの活動内容について伺います。

**答** 地域で活動されている様々な団体に情報を提供し、団体への指導・支援やうるおい交流館を拠点としたイベント、セミナー、研修会などを予定している。

**問** 若い人の結婚相談所の立ち上げに、指導支援して頂けるのか。

**答** そのような、団体をつくっていただければ、指導支援を行います。



市民クラブ

山中修己 議員

### 旧クリーンセンターの

#### 解体について

**問** 旧クリーンセンターは、新クリーンセンターができた平成元年以降、十数年を経過していますが、解体されないうまま現在に至っています。環境問題を考えると早急な解体処分計画を策定すべきと思いますが、進捗度はどのようになっていますか。

**答** 当施設は防衛施設庁の補助を受けており、平成八年に廃止承認を受け、平成十一年煙突を撤去いたしました。平成十六年度から焼却施設の解体と跡地利用を一体的に整備することにより、解体費に対する国の補助が可能になったことから、九月の補正予算で解体に必要な事前の検査や設計委託料を計上しま

した。解体工事はダイオキシン類測定結果でその費用が大きく左右します。解体作業によって生じる排気、排水及び解体廃棄物による周辺環境への影響を防止し、汚染物の飛散対策をしながらの大変困難な工事となりますが、地元の皆さま方への安心・安全の確保に万全を期してまいります。解体工事は平成十七年度から実施します。

### 国民健康保険税について

**答** 国保の保険税は小野市の場合、所得割・資産割・均等割・平等割の合算になっています。この内、資産割については固定資産税の九%となっており、二重課税ではないかとの意見があります。資産割を徐々に縮小し、所得割を増額することが、公平な考え方だと思いますが、お考えを伺います。

**答** 資産割については資産が即所得に結びつく現実的所得とは考え難いことから、県下においても廃止している市が多くなってきております。従って資産割の減、所得割の増へのシフトは認識しておりますが、国保運営協議会の意見などをいただきながら慎重に対応してまいりたいと考えております。



市民クラブ

藤本修造 議員

### 平成十六年度市長方針

#### 三つの更なる展開について

**問** 三つとは、顧客満足度志向の徹底、協働と参画の推進、挑戦の英語の頭文字のCです。約半年を経た今日、行政も企業経営と捉えるところが変わりつつありますが、中間総括と今後の課題についてお尋ねします。

**答** 『エクセレントシティ』の実現のため、三つの基本理念、一つに理念なくして意識改革なし、意識改革なくして行動なし。二つに行政も経営、より高度で、より高品質なサービス」を、「より低コスト」で。三つにゼロベースの発想でチャレンジ。職員レベルでは意識改革が進んだ結果、行動形態が目に見える形で変化

している。PDCA制度の実践を積み重ね、職員一人ひとりがこの制度に志向プロセスを踏み続けることにより、各個のモチベーションの向上、組織の生産性の向上に結びつくものと確信しています。方針達成のキーワードは、「続ける」であります。

### 夢と希望の教育の将来構想について

**答** 義務教育九年間のうち、小学校一年から四年までは、基本的生活習慣の確立や、学習の基礎基本を習得させる期間、五年から中学校一年までの三年間は中学校へのスムーズな移行と、学習の基礎を生かし興味関心を深める期間、中学校二・三年生の二年間は、個性を伸長し、学習に対する論理的思考力を養う発展期と捉え、従来の六・三制ではなく、成長段階に配慮した四・三・二制を視野に入れ連続した九年間の教育活動を展開する試みを進めています。

各校区の小中学校が、それぞれのテーマで共同して実践研究を行い、その成果を全市的に集約した上で、最終的には、四つの中学校区が時代にあった効果的な小中一貫した教育を展開していく、展望を持っています。



### 民主クラブ

横山 四郎 議員

## JR加古川線粟生駅舎の 改築計画について

**問** 粟生駅舎の改築計画について、現在の状況をお聞きます。

**答** JR粟生駅については、北条鉄道と神戸電鉄との乗り継ぎ駅であることから主要駅としての整備が必要と考えています。

このことから三事業者に対し改築計画の有無について確認いたしました。現時点では計画が無いと聞いております。

市としては、駅周辺を含めた整備の必要性は充分認識しており、現在整備計画策定を図るための「駅周辺まちづくり懇話会」設置に向け、地元と調整を行っております。

## 桜づつみ回廊事業の 進捗について

### 進捗について

**問** 現在の進捗状況及び完成予定時期はいつ頃ですか。

**答** 平成十五年年度末の進捗状況は、整備延長四kmに対し千二百三十mで三十一%、植栽は千本に対し二百五十本で二十五%であります。

モデル事業認定区間の粟田橋から新大河橋間の二千三百mは平成十四年度より整備に着手し、千七十七mの桜の植栽、千七百mの散策路等の整備を行い完成する予定であります。

計画全体の完了は平成十八年度末を予定しております。

**問** 駐車場・トイレ・休憩場所などの計画についてお聞きます。

**答** 駐車場の設置は、粟田橋下流の水辺ふれあい公園跡地、加古川と東条川との合流する堤外部分、古川町グラウンド付近の三箇所を計画。トイレは、水辺ふれあい公園跡地、住永町神社地、加古川と東条川との合流地、古川町グラウンド付近の四箇所に設置する計画。

休憩場所は、散策路沿い五十mに一箇所程度の割合で、ベンチを設置する計画です。

### 日本共産党

鈴垣 元 議員

## 教育現場の現状について

子供と教育の危機が叫ばれ、今を生きている子供達にふさわしい学校づくりが求められており、課題の一つに、「教員が教育者として誇りと喜びを持って仕事に取り組んでいるか」の問題があるとして小野市の現状を問いました。

**問** 困難をかかえる子供の実態と対応及び小中学校教師の実態は。

**答** 小野市においても、基本的な生活習慣や学習習慣がつきにくい子供が増加傾向にある。

従来は学級担任が一人で悩みを抱え、その重圧から精神的、身体的に健康を損なうことが少なからずあったが、現在では学校全体の問題として考え、全教職員で共通理解しながら対応する体制を確立している。その結果、平成九年に七十八名いた不登校生が、十五年には二十六名に減少するなど成果をあげている。

教師の実態では、小野市では変形労働時間制を積極的に活用、授業に

支障がない範囲で勤務時間の割り振りをを行い、超過勤務にならないよう努めている。

また本年度、教職員の大きな負担となっていた各校ごとの指定研究を廃止し、自主的な研究に改めるなど教職員の健康に配慮しています。

### 国民健康保険

#### 一部負担金の減免措置を

国保法第四十四条では、「特別の理由があり、一部負担金を支払うことが困難であると認められる被保険者に対しては、減額や免除、徴収猶予ができる」と定めている。

貧しさゆえに必要な医療を受けられないといった事態があつてはならないとして、具体的な要綱制定を求めました。

**問** 国保法第四十四条は、特別な理由がある人がいることを前提として規定しており、具体的な状況に応じて減免内容を定める必要があると思つたが。

**答** 施行規則第二十条に基づき申請された場合、公平かつスムーズに対応できるよう詳細を定めることは必要と考えており、具体的な取り組みを進めます。



公明党  
竹内 修 議員

### 準救急体制の充実を

**問** 小野市民病院の救急処置室の現状について問う。

**答** 主として救急車で搬送される患者の方を中心に、診察や創傷処置等を行っている。優先されるものとして取り扱っている。

**問** 小野市民病院の体制強化のために、救急車以外で来院する重症患者の方を昼間でも救急処置室で早期診察扱いにできないかさらに問う。

**答** 現在の体制を見直し、そういう方々にも対応するべく看護部長以下もう一人、人員を配置するなどして対応していきたい。

### 脇本町通学路の進捗状況

**問** 脇本町通学路の進捗状況について問う。

**答** 以前質問があった改善の進捗状況について、市としては交通安全のための現地調査を行い、計画図面を作成し、工事に向けて準備している。今後、地元役員の方々のご協力を得ながら進めていきます。

### 産業人材育成事業の推進

**問** 小野市の若年者の雇用対策について問う。

**答** 北播磨地域有効求人倍率は〇・八三と、大変な就職難の状態だが、産業人材育成事業の推進について小野市独自の時代や地域に合った産業人材の育成については、本年度から小野市商工業活性化計画に基づき（産学官の連携に）取り組む予定です。そのメニューの一つとして、「インターンシップ」制度というものが想定されます。この制度を通じて人材育成を図り、状況を改善していきたいと考えています。

## 議案の内容を聞く質疑

（発言した議員が作成した原稿に基づき編集されました。）

日本共産党

春名良兼 議員の質疑

### 一般会計補正予算について

**問** 交通維持対策費、コミュニティバス運行事業経費三百二十万円の補正内容について。

**答** 市民からのご提案をいただき、らんらんバスのミニチュアカーを製作・販売するため補正するもので、らんらんバスのより一層のPRとイメージアップを図ることを目的に実施するものです。らんらんバスのデザインを取り入れ、ミニチュアカーを六千個製作、一個六百元で販売する計画です。

**問** 交通防犯対策費五百万円の内容について。

**答** 総務省が進める地域安心安全アクションプランのモデル事業「地域安心安全情報ネットワーク構築事業」としてのサーバー、情報機器等の設置費で、モデル事業は公募により全国で二十自治体、兵庫県では小野市が選ばれました。モデル事業の委託料は、総務省より助成金として交付されます。

**問** 塵芥処理費・委託料二千二百万円の内容について。

**答** 旧衛生センターの解体撤去に国の補助の対象となる制度が創設され解体撤去に取り組むことになりました。委託料二千二百万円は、ダイオキシン類の調査、解体工事実施設計書の作成、解体工事後に予定する一般廃棄物処理施設整備に伴う計画書及び一般廃棄物処理計画書の作成等の経費です。

**問** （仮称）うるおい交流館建設（電気）工事請負契約の変更内容について、提案理由にホールプロジェクト、屋外監視カメラ、E.Tシステム外の追加とあるが、設計段階で検討されなかったのか。

**答** ホールプロジェクトは、当初設置しないとしていましたが、ホールの利用計画のなかで、シンポジウムや講演会等で映像やコンピュータ画像を映し出す機能が求められ、多目的ホールとしての機能を充実するため追加決定し、屋外監視カメラは、交流館の開館時間が朝九時から夜十時、スタジオは夜十二時までで防犯対策のため。

### 一般会計補正予算

#### について

**問** 旧衛生センター解体撤去について、なぜ今なのか。これまでの経緯とダイオキシン対策・撤去後の利用計画について伺います。

**答** 地元との約束で昭和五十四年から十年間使用。平成十一年老朽化による危険回避のため、煙突のみ解体。今回、国の解体工事支援制度ができたので、地元三町の早期撤去要望を受けダイオキシン調査・工事設計を行う。

解体整備に仮に五億円かかっても、市民の安全を最優先し税を有効に使い、タイミングを図り不退転の決意でスピーディに対応する。現時点で跡地利用計画は無い。

**問** 白雲谷温泉(ゆぴか)補正額五千六百万円の内訳と経営上の問題点、泉質保持、売店、農産物直売所、観光宣伝等について。

**答** 内訳は大型看板の設置、足湯の改善、予備ポンプ、人件費増等である。当初予想をはるかに上回る来場者があり、四十万人を目標に経営努力している。

泉質については二日毎に湯を全部張替え、清潔を保持。

宣伝面では神鉄の湯めぐりラリーに参加。直売所は今後QCD(品質安全面)を重視し、安定供給の目途を見極め検討する。

**問** うるおい交流館(電気)工事請負契約の変更の内容と高額の変更を随意契約とした理由を伺います。

**答** ホールプロジェクター、ITシステム、屋外照明、屋外監視カメラ等であり、NPO、整備計画検討会議の要望により追加する。

入札せず同一業者と随意契約した理由は、落札率が設計価格の七十九%と低く現場管理や責任問題、トラブル回避や原因究明が容易で諸経費が不要等の利点があり、入札制度改革の十五項目にも抵触しない。

### 一般会計補正予算について

#### 大島出水整備事業の内容について

**問** 当初、出水周辺の護岸改修工事、水路改修工事、植栽工事等、出水の維持を主眼においた整備を行う予定でありましたが、地元要望等もあり神戸電鉄小野駅南及び大島土地区画宅地に近接する好立地を生かし、単なる出水の改修のみでなく、地域に親しみやすく、うるおいと安らぎを感じることでできる出水公園として整備することとしました。なお、千四百四十万円の主な整備内容は駐車場、広場、あずまや、フェンスの設置等の工事であります。

**問** 市境等景観整備事業の具体的な内容について。

**答** 市への出入り口や交通量の多い道路沿い等に緑や花を配し、美しい景観を整備しようとする事業であります。整備予定箇所は、県道三木山崎線と国道一七五号線が交差する小野市浄谷町の交差点と、市道五〇三五線が交差する王子町の交差点の二箇所を予定しています。二箇所ともアダプトプログラムによる四季の花をライトアップですばらしい景観を形成しております。具体的な内容の延長線にあります。具体的な内容としては、ハンギングバスケット型の照明灯に加え、オリブ、ローズマリーを基本とした四季の草花、デザインコンテナを配した花壇の整備、ライトアップ、水道引き込み工事等であります。

**問** 大島大坪遺跡公園整備事業の内容について。

**答** 大島土地区画整理事業区域内の大島区画二号公園を、その存在が確認されている弥生時代後期の大島大坪遺跡公園として、後世に伝承する形態の公園として整備するものであります。国土交通省の国庫補助事業平成十六年新規まちづくり交付金事業として、前倒して実施するものです。具体的整備内容は、滑り台、ブランコ等の遊具他、あずまや、メッシュフェンス、トイレ、遺跡説明板、広場、植栽等の整備です。

## 今期市議会で可決された主な議案

### 市長提出議案

- ・平成16年度一般会計補正予算（第2号）  
一般会計補正予算の主な内容は生活道路など道路改良整備に1億円、大島出水整備事業として15,000千円、大島大坪遺跡公園整備事業として38,000千円、市境等景観整備事業に10,000千円、森林ボランティア支援事業に3,000千円、安全・安心のまちづくりのためのITを活用した地域情報共有システム構築費として5,250千円、旧衛生センターの撤去に向けた設計・調査費用として22,000千円、教育文化の充実のためハートフル・チャレンジのテキスト増刷費用として、3,063千円、コミュニティセンターおおべ改修事業として26,000千円など歳入・歳出に275,000千円を追加し、総額18,867,000千円とする。
- ・(仮称)うるおい交流館建設(電気)工事請負契約の変更について

### 意見書

- ・消費者保護法制等の整備を求める意見書
- ・地方分権推進のため「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書
- ・郵政民営化に関する意見書

### 請願

- ・郵政民営化に関する意見書提出を求める請願

## 12月定例会の開催予定

- 第1日 12月3日(金) 本会議
- 第2日 15日(水) 本会議
- 第3日 16日(木) 本会議
- 第4日 21日(火) 本会議

なお、日程は変更になる場合もあります。

議会運営や市議会だよりなどについて、みなさんからのご意見をお待ちしています。

議会事務局 TEL 63-1000  
FAX 63-4108  
Eメール gikai@city.ono.hyogo.jp

## 訃報



吉田 茂議員が去る十月二日に急逝されました。六十九歳でした。  
吉田議員は平成七年から連続当選以来、三期目。この間議長、監査委員、総務文教常任・決算特別委員長などの要職を歴任、市政の発展に大きく寄与されました。  
ここに、生前のご功績をしのびながら冥福をお祈りいたします。

## 議員研修会

去る8月27日及び9月30日に議員研修会を開催しました。

第1回目は、教育委員会事務局から、「夢と希望の教育」について確かな学力・健やかな体力・あたたかな心・信頼される学校などの実践内容について、特に小野市独自のテキストを作成し、本年からの新規に始まった漢字、計算の基礎学力の向上と自学自習の習慣とチャレンジ精神を育成するハートフルチャレンジ事業の推進について詳しく説明がありました。

第2回目は、市企画政策室、NPO法人北播磨市民活動センターから市民と行政の協働による必要性、NPO法人から(仮称)うるおい交流館の管理・運営方法、支援事業、人材育成事業、情報提供事業、公的施設管理運営事業など具体的な説明があった。また、建設中の同館を見学。今後のオープンに向けたたくさんの質問・意見の交換を行いました。

